

Lab to Fab

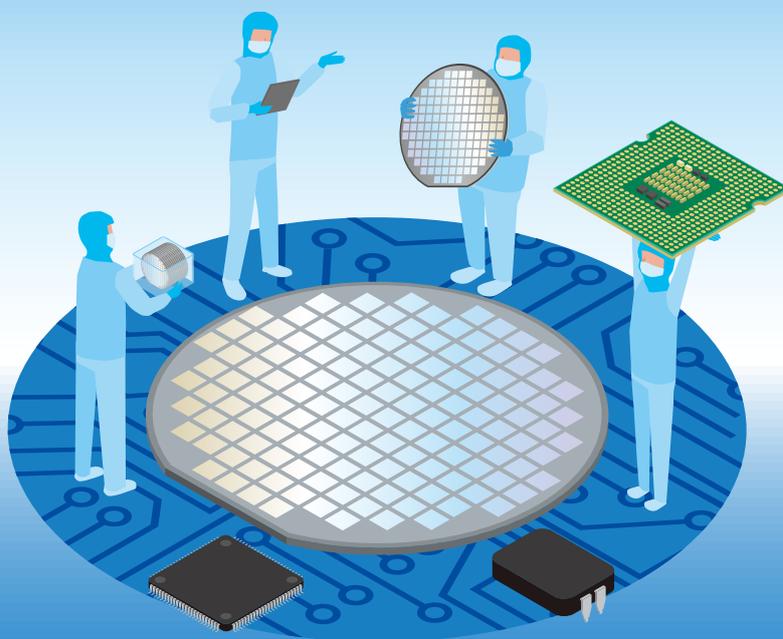
→ 研究開発と量産を最速でつなぐ半導体DX

2025/09/08(月) 13:30-18:30

一般講演 投稿募集中

名城大学 天白キャンパス/Zoomハイブリッド開催

日本の半導体競争力を高める鍵は、研究開発と量産の間に立ちはだかる壁を大胆に打ち破り、そのリードタイムを劇的に短縮することにあります。本シンポジウムでは、最先端の量産ファブで基礎研究レベルの試行錯誤を自在に展開できる未来を見据え、AI、数理最適化、量子技術など、イノベーションを加速するデジタル技術の最前線を議論します。その先に広がるのは、モノづくりが極限までグリーン化された持続可能な未来です。



招待講演

三津江 敏之 デジタルツインで加速する研究開発から製品化への道筋 (仮)
デロイト トーマツ コンサルティング合同会社

國枝 省吾 マテリアルズインフォマティクスと量子アニーリングを活用した半導体洗浄プロセス向け新規材料探索 (仮)
株式会社 SCREEN ホールディングス

奥野 好成 ニューラルネットワークポテンシャルを用いた分子動力学法による化学機械研磨機構の解析
株式会社レゾナック・ホールディングス

吾郷 浩樹 300mm ウェハを見据えた 2D マテリアルの量産化技術 (仮)
九州大学

久保 幹雄 機械学習と数理最適化の融合 (MOAI) による革新 (オンライン)
東京海洋大学

岩見 真吾 100% ドライラボの異分野融合研究 (仮)
名古屋大学 iBLab

世話人: 青野 真士 (Amoeba Energy株式会社), 秋永 広幸 (北海道大学), 中川 真一 (株式会社SCREENセミコンダクターソリューションズ),

企画: 半導体グリーンファブ研究会

協力: エネルギーハーベスティング研究グループ, フォノンエンジニアリング研究会, システムデバイスロードマップ産学連携委員会